

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス・児童発達支援フルーム		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に合わせた個別計画。	子どもたち同士の関わりを増やし、コミュニケーションをとる練習も兼ねて、対戦型の集団活動に加え協力型の集団活動も行っている。	プログラムの立案が一部の職員に偏っているため、全員が意見やアイデアを出しやすくなるよう、話し合いの機会をより増やしていく。
2	集団を考え、取り組んでいる・遊びや運動を通して集団生活における社会性を育む。	日々のスケジュールや時間を優先化し、一人で確認して次の行動にうつることができるよう工夫している。 ・おもちゃをしまう箱に、入っている中身の写真を貼り、一人でも写真のように片付けを行えるようにしている。 ・皆が見える場所に「声のものさし」「お友達や先生との距離」	
3	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。		

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が弱い。	支援学校とも近いため他学校や地域とのやりとりがあまりないことから何か行えることを考えていきたい。	地域交流会に参加できる体制をつくる。
2	避難訓練の周知ができていない。	避難訓練の実施日が事前に伝えられているが、全員参加は難しい。	日頃からの関わりを大切にし関係を深めながら連携できることを検討していく。
3			